

がん医療フォーラム2013

がんと共生できる 社会づくり

地域における緩和ケアと
療養支援情報プロジェクト

国立がん研究センターがん対策情報センター
渡邊 清高

2013年9月1日

がん医療フォーラム2013 がんと共生できる社会づくり

がんになる人はどのくらいいるの？

主な死因別にみた死亡率の年次推移 厚生労働省／平成22年 人口動態統計

年間**35万人**の方ががんで亡くなり、
1年間で**74万人**もの方が新たにがんと診断されています。

がんと共生できる社会づくり

がん情報サービス(インターネット)

国立がん研究センターがん対策情報センター
がん情報サービス ganjoho.jp

<http://ganjoho.jp>

「がん情報サービス」では、がん対策情報センターより科学的根拠に基づく信頼性の高いがん関連情報を提供していきます。

がんの冊子(治療や療養の冊子)

計55種
(2013年9月)

がんになったら手にとるガイド＝情報

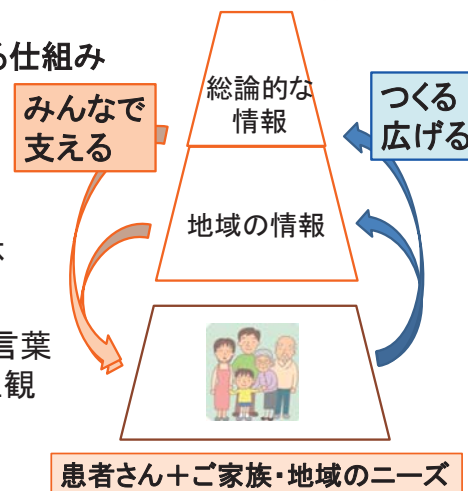


がんと共生できる社会

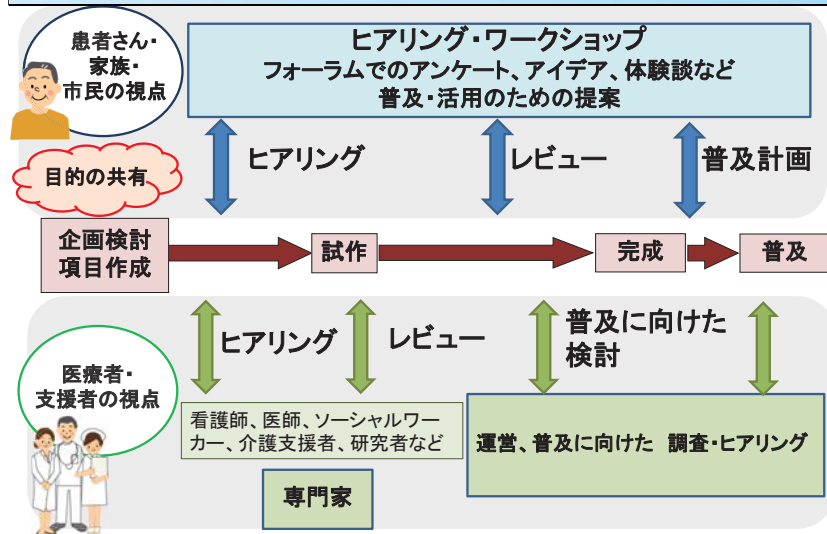
医療・介護・療養を支える仕組み

緩和ケア
在宅医療
地域の医療・社会資源
患者会・ボランティア団体

歴史・風土・文化・教育・言葉
気候・風俗・家族観・死生観



地域における緩和ケアと療養支援情報プロジェクト



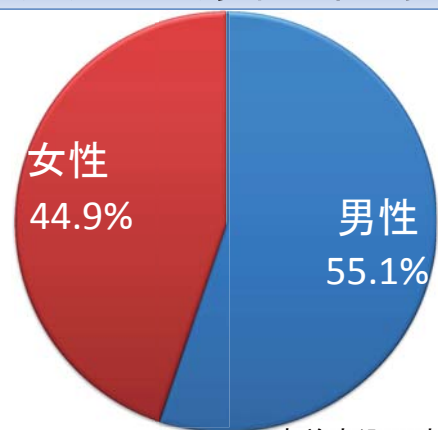
がん患者さんの家族を支える療養の手引(試作中)

- ・在宅での緩和ケアを受けるときに知っておきたいこと
- ・家族にとって大切なこと(向き合い方、患者さんとの関係)
- ・心の安らぎを得ることの大切さ
- ・退院後、在宅での生活
- ・社会とのつながりを保つ
- ・費用の仕組みや支援制度
- ・具体的な家族向けの支援情報
- ・環境を整えること
- ・家族にできるケアや生活の工夫
- ・服薬の管理
- ・看取りを考えるときに必要な情報
- ・受け止めるときのヒント、支える仕組みや制度
- ・よくある質問と答え

家族として、
親しい友人として、
支えたい、寄り添いたい
と思ったときに役に立つ
情報をまとめた冊子

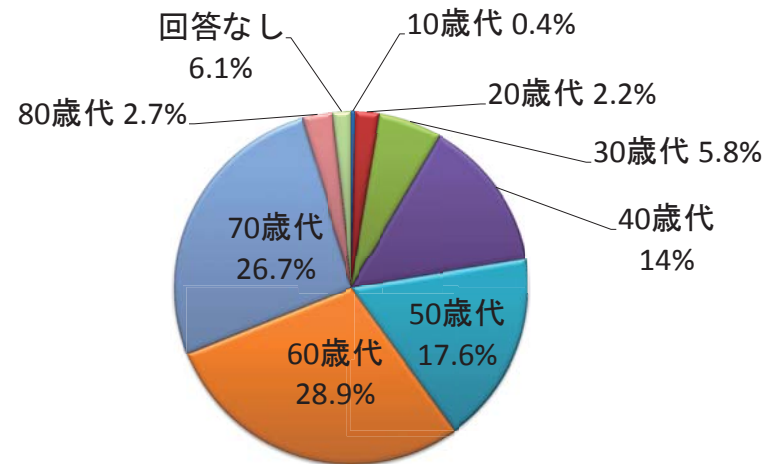
本日参加の皆さま 事前アンケート

性別(N=550)男性が若干多い



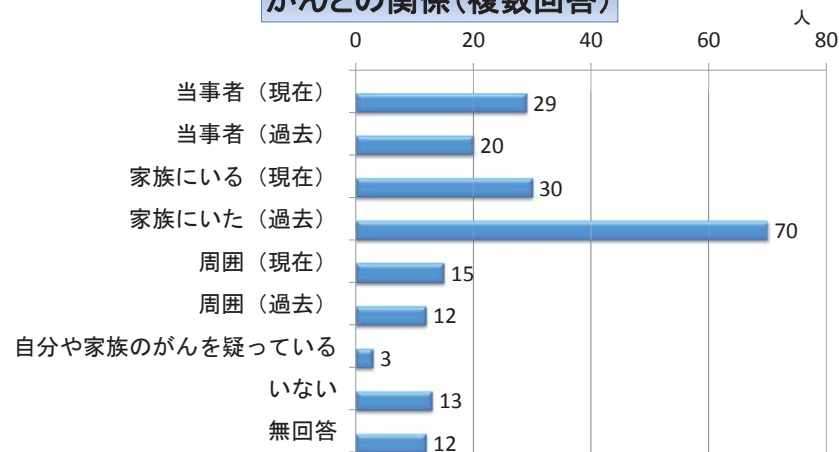
事前申込み時点、件数ベース

年齢(平均55.8歳*)幅広い世代に関心



事前申込み時点、件数ベース

がんと関係(複数回答)



事前申込み時点、件数ベース

事前アンケート

シンポジウムの議論に期待すること

- **がんと共生できる社会づくり**
 - ・患者、家族、市民、医療者、行政が、これから取り組むべきことは何か。
 - ・患者と周囲の関係者が、正しい情報を得て、どのように話し接したらよいのか、具体的に知りたい。
 - ・社会生活を支える視点で、就労支援や在宅療養、全人的な緩和ケアについて先進的な事例を知りたい。
- **地域の緩和ケア**
 - ・地域医療、介護福祉、プライマリケアとの連携。
- **患者を取りまくコミュニケーション**
 - ・患者、家族としての対処法、心構え。将来への展望。